



### 松阪保健所で難病相談会開催

このほど松阪保健所において難病相談会が開催されました。寒い時期なので参加者が少ないのではないかと心配されましたが、難病患者・家族、支援者の方々が多数参加され、三重県松阪庁舎6階の大会議室は熱気にあふれました。

藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション学科教授太田喜久夫先生の「神経難病の患者・家族のためのリハビリテーション」と題する講演があり、終了後CTF松阪がコミュニケーション機器（マイトビー、伝の心、ハーティラダー、レッツチャット、各種入力スイッチ）の展示・実演会を実施しました。なかでも、マイトビーの使用体験には行列が出来るほどの人気で、CTF松阪の6人のスタッフが対応に汗だくでした。



写真上：太田先生の講演  
写真下：CTF松阪の展示・実演ブース



### 氏郷さんの逸話①



松坂は氏郷さんが1588年に作った城下町ですが、大変に評判が悪かった。

ご存知のように僕の住む本町界限では鋸状の町並みが残っていてそれが旅人に歩きにくいと評判が悪かった。

「伊勢の松坂毎着てみても、ひだの取様でまちわるし」

（伊勢の松坂何時来てみても、ひだの取様でまちわるし）

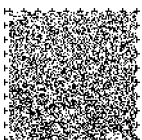
「ひだ」は、袴の襷と、氏郷さんの「飛騨守」をかけたもの。氏郷さんの町割りの悪さのせいで、松坂はひどい町になった、と皮肉った落書である。

その2年後、1590年に秀吉の命を受け、氏郷さんは会津の黒川城に入った。会津黒川を氏郷さんがこよなく愛した『松』をつけた会津若松と改め松阪と同じような城下町に作り直したがこれも又評判が良くなかった。

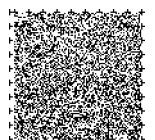
「黒かをは袴にたちてきてみれば まちのつまるは ひだの狭さに」

ちなみに、袴の部品は後ろ布・前脇布・前奥布・後ろまち・前まちと片足5枚からなっている。

・・・ 参



今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





## PC/AT 互換機共通のブート中間段階 (5-3)

起動ディスクとなる HDD を見付けると BIOS は HDD の先頭にある「MBR (マスター・ブート・レコード)」を読み込む。このステップから OS が HDD 上に組み込んだブート関連プログラムが主役となり PC/AT 互換機共通の手順に従ってブート・プロセスを進める。

MBR は OS がインストールした PC/AT 互換機共通の起動用プログラムと 4 つの「パーティション・テーブル」で構成されています。パーティション・テーブルは HDD 内のパーティション構造を示す情報で、ここで管理できるパーティションを「基本パーティション(プライマリ・パーティション)」と呼び 1 台の HDD に 4 つまで作成可能です(図 6)。これに対してその内部に複数の「論理ドライブ」を作成できる「拡張パーティション」というパーティションもある。

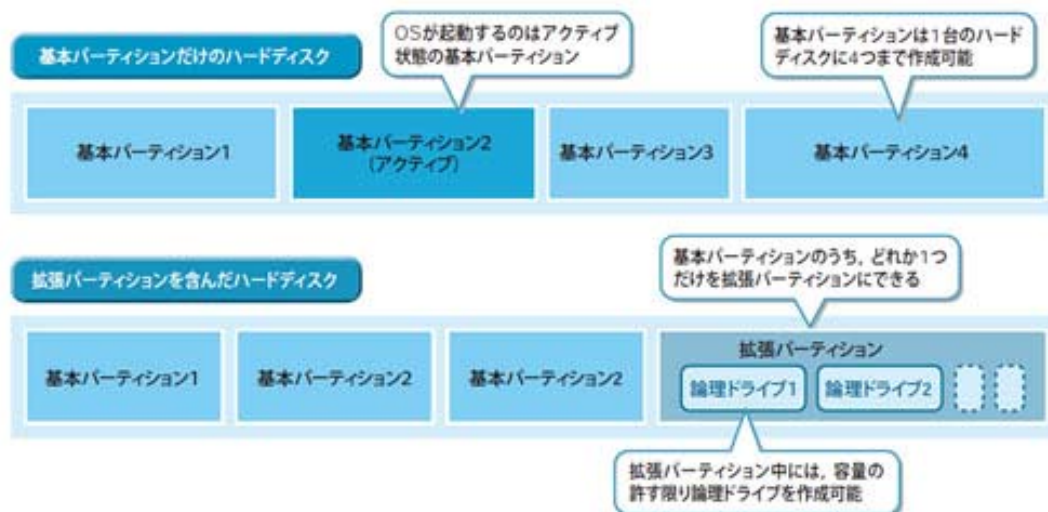
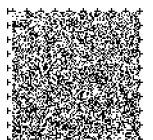


図 6 基本パーティション、拡張パーティション、論理ドライブの関係

MBR の役割はアクティブな基本パーティションを選び、ブート・プロセスの制御を渡すことにある。この処理を実行するプログラムは「ブートストラップ・ローダー」と呼ばれている。ブートストラップ・ローダーは、パーティション・テーブルの情報からアクティブな基本パーティションの開始位置を調べ、そこ(パーティションの先頭)に記録された「ブート・セクター」を読み込む。さらにそのブート・セクターに記録されている「IPL (イニシャル・プログラム・ローダー)」と呼ばれるプログラムに制御を移す。PC/AT 互換機ではこのパーティションが「C ドライブ」となる。

つづく



## 活動報告

### 【1月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(10日、17日、24日)

訪問ITサポート

(5日、13日、18日)



## 活動予定

### 【2月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

7日、14日、21日、28日

各 9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて



## 駅をたずねて

### 松阪駅（近鉄）

近鉄松阪駅は、昭和5年に近鉄の前身である参宮急行電鉄の松阪駅として、国鉄（当時）松阪駅に併設されるかたちで開業しました。

この駅にはプラットホームが2面あり、跨線橋で連絡している各ホームにはエレベータが設置され、構内のトイレは車いす、ベビーシート、オストメイト対応などバリアフリー化もされています。

駅前からは中部国際空港セントレアへの高速船が発着する松阪港へのコミュニティバスが運転されています。

また、駅前周辺にはホルモン焼きの店が多く、夕刻になるとタレの焼ける香ばしいにおいに誘われたサラリーマンなどで賑わっています。

路線名：近鉄山田線

所在地：松阪市京町1区43-1

開設年：昭和5年

乗車人員：1日平均 7,536人（平成21年度）

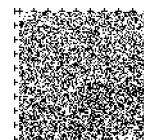
出典・平成23年刊三重県統計書



近鉄松阪駅写真



セントレアへの高速船写真





### 松阪城跡とその周辺地域の移り変わり

A&E.K

松阪市に住み始めて 50 年近くになります。その間多くの人々から伺ったお話や自分で見たこと  
など思い出して記してみました。

(城跡周辺)

第一小学校が建てられる前は、堀が殿町側に流れていて、魚町側に高い土手があったそうです。  
その堀の一部は今でも工業高校の東側から割烹八千代の裏を通り市役所前に流れています。

今の第一保育所や障害者福祉センターのある所は、戦後は一面の畠だったそうですが、又、今の  
松阪公民館の所にあつた職業安定所（紹介所かな？）が取り壊されて、周辺が広がったので、松  
阪市のテニスコート（軟式）4面が出来ました。

我が家は、テニスコート沿いだったのでよくテニスボールが飛び込んできました。それが暫くし  
て、保育所が出来て、隣に青少年ホームが建ちました。保育所が建てられる前には、敷地横にコン  
クリートで出来た幅 2m程で長さ 10~20m程の道があったそうです。色々の方に伺ってみると、近  
くのお米や、酒、味噌などを商っていたお家の敷地らしく、そこに昔は沢山の樽が並んでいた  
と聞きました。其の光景を知る人も少なくなりました。一説によると、何か車のブレーキの検査を  
するための舗装だったとも云われますが、そんな筈はないですよ？

その後、勤労者青少年ホームが徳和の方に移って解体されて今の障害者福祉センターが出来まし  
た。50 年近くの間移り変わりの激しい時代です。

次号では、城跡内の移り変わりについてご紹介したいと思います。



#### 編集後記

寒さは、まだこれからが本番で  
す。春はまだちょっと先です。  
今年もインフルエンザが流行りだしました。ウガイ  
・手洗い・は忘れないで暖かい春を元気で待ち  
ましょう。今年の 2 月は、4 年に一度の 1 日多い  
(29 日) 年です。

良い一日を過ごしてください。今度は 4 年後で  
すよ♠



### CTF 通信第 107 号

2012 年（平成 24 年）2 月発行

発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

